

2018(平成 30)年度 理科・生活の化学 シラバス

教科	科目	学年	履修	単位数	対象
理科	生活の化学	2 学年	選択	2 単位	2 年 1～4 組生活の化学選択生徒

1. 使用教材

- ① プリント, 視聴覚機器, 各種実験器具など

2. 科目の目標

日々の生活と暮らしに関連した項目・内容について、様々な物質を利用し快適な暮らしを得ていることや物質の安全性の問題など、化学と日常生活との関わりを中心に学ぶ。また、1 年次に履修した化学基礎の知識も踏まえ、実験・実習を取り入れて学習を深めるとともに、科学的な視点、物や自然を大切にすることを身につけ、社会の中へ自発的に関わっていく態度も育てる。

3. 評価方法

成績評価は以下の項目を総合的に判断して行う。

- ① 定期考査（各学期の中間・期末, 学年末）及び小テスト
- ② 提出物（プリント, 実験の報告書, 長期休暇中の課題, 宿題 等）
- ③ 関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 技能, 知識・理解

4. 配慮事項

小中学校で学習した内容や化学基礎の学び直しも考慮しながら、日常生活における身近な教材（商品、現象）を取り上げて学習を行うとともに、実験、実習を通して理解を深めるように工夫する。また、新聞記事、写真、インターネットなども活用し、化学と社会の関連性も意識させるように配慮する。

5. 年間指導計画

学期	月	指導内容	配当 時数	備考
1 学 期	4 月	・ガイダンス 第1章 身の回りの物質 I 第1節 気体と燃焼	1 5	
	5 月	第2節 消毒と漂白	4	1 学期中間考査
	6 月	第3節 鉛筆と宝石 章末のまとめ	3 1	1 学期期末考査
		第2章 身の回りの物質 II 第1節 金属とさび	6	
	7 月	第2節 金属の利用	4	
2 学 期	9 月	第3節 石灰の循環 章末のまとめ 第3章 生活と食物 第1節 脂質とセッケン	4 1 4	
	10 月	第2節 炭水化物(糖類) 第3節 タンパク質	5 5	2 学期中間考査

	11月	第4節 食品 第5節 医薬品 章末のまとめ	4 4 1	2学期期末考査
	12月	第4章 生活と衣料・材料 第1節 生活と石油	6	
3 学 期	1月	第2節 繊維 第3節 ゴムと樹脂	3 2	
	2月	第4節 染料	4	学年末考査
	3月	第5節 紙類と材木 章末のまとめ	2 1	